

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地域分析 (Regional Analysis)					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 A L
	2037-1-33-095	専門科目	選択	2 単位	3 年次	後期		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 A L
	2437-1-33-034	専門科目	選択	2 単位	3 年次	後期		

① 授業のねらい・概要
地域社会の研究に必要な地域分析の方法を習得する。ネット上でのデータ探索作業を手始めに、各種統計データや分析結果を地図化するなどの作業を行う。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
コンピュータ室において講義と実習を行う。全員が発表する機会を何度か設ける。その際には積極的な質疑応答が求められる。毎回小課題提出が求められる。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
村山裕司・駒木信比古（2013）『新版地域分析』古今書院
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
なし
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
常に問題意識を持ち行動すること。大学生であることを自覚すること。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 地域の課題について考える視点を身に付ける。 (ii) 地域を知るために地域分析を行うことができる。 (iii) 統計データ分析や地図化ができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地域分析の意味と必要性	地域の意味・地域の在り方を理解し、分析ができる	資料等を参考に地域の分析ができる	地域分析の必要性を理解できる	地域分析の必要性が理解できない	地域について考えることをしない
(ii) 地域の特色・課題を説明できる	地域の特色についてさまざまな方法を用いて分析できる	地域の特色について資料を参考に説明できる	地域の特色を発見しようとする態度はある	地域の特色を感じることができる	地域の特色を考えることができない
(iii) さまざまな情報を統計的手法などにより、数理的に表現・分析できる	さまざまな情報について理解し、地図化などの表現・分析ができる	さまざまな情報について分析できる	さまざまな情報についての理解自体が不十分	さまざまな情報について理解しようという態度は見受けられる	さまざまな情報について全く理解できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			50%			100%
(i) 地域分析の意味と必要性の理解	10%			10%			20%
(ii) 地域の特徴・課題を説明できる	10%			10%			20%
(iii) さまざまな情報を統計学的手法などにより、数理的に表現・分析できる	30%			30%			60%
フィードバックの方法	提出されたレポートにコメントを行う。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス	授業の概要、進め方	120 分
2	地図を見る	地図処理能力の養成	120 分
3	現代のオンライン地図情報	地図情報の収集	120 分
4	写真・衛星画像のデータベース①	写真・画像の収集①	120 分
5	写真・衛星画像のデータベース②	写真・画像の収集②	120 分
6	統計データの探索①	統計データの収集	120 分
7	統計データの探索②	統計データの解析	120 分
8	個人発表①	発表と質疑応答①	120 分
9	個人発表②	発表と質疑応答②	120 分
10	個人発表③	発表と質疑応答③	120 分
11	空間データ①	空間データの収集	120 分
12	空間データ②	空間データの解析	120 分
13	メッシュ分析①	メッシュ分析事例①	120 分
14	メッシュ分析②	メッシュ分析事例②	120 分
15	まとめ	これからの地域分析	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
毎時間、受講生は授業の最後に本時に学んだ内容をまとめる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性